

ささえよう！病気の子どもと家族

♡ 病院近くの第二のわが家 ♡

病気治療のために、自宅を離れて病院に入院・通院する子どもたちがいます。治療期間中に少ない経済的負担で、わが家のように安心して滞在できる「病院近くのわが家」（ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス）をご存じでしょうか？

「病院近くのわが家」のことを知ってほしい、そして人から人につないでほしいという想いがあります。皆様のファミリーハウス運動に対するご理解とご協力をお願いいたします。



©cis character art by shinichi emura

ホームページで情報を提供しています！

全国の滞在施設が検索できます

日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス
<http://www.jhhh.jp>

北海道内の滞在施設が検索できます

NPO法人 北海道ファミリーハウス
<http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/>

JHHHネットワークってなに？

JHHHネットワークは、北海道から九州・沖縄まで全国でおおよそ70団体、約125施設に広がったハウス同士のネットワークです。

ハウスを運営する団体は、「財団・NPO・任意団体」「企業のCSR・社会貢献活動」「病院」の3種類あり、どの団体も非営利でハウスを運営しています。

ホスピタル・ホスピタリティ・ハウスってなに？

自宅を離れて専門病院で治療を受ける子どもと家族がそろって滞在できる宿泊施設のことをホスピタル・ホスピタリティ・ハウス（HHH*）といいます。

「わが家」のような温もりを持ったハウスは、不安な家族を支え、子どもの治療への意欲を引き出すと言われ、トータルケアの一端を担っています。

*患者が大人の方でも使える施設があります。

*ホスピタル・ホスピタリティ・ハウスは、滞在施設、患者家族滞在施設、慢性疾患児家族宿泊施設、サポートハウスファミリーハウス（R）、アフラックペアレンツハウス、ドナルド・マクドナルド・ハウス、などの呼称で呼ばれています。

